

噂(うわさ)

2019年3月11日(月) 天気、晴れ。

週明けの授業早々、金珉珠からミカンのプレゼントをいただいた。日記にはそうある。ただの授受に過ぎないが、後になってから珉珠のこの行為は意味深であることがわかった。早くも、例の噂が伝わったのである。

噂には悪い噂とそうでない噂とあるが、私の場合は残念ながら悪い噂、もちろんその内容は真相としては偽りで、自分が悪者扱いされる覚えはないのだが、この噂の流布はかなり根が深い。ここ数年、度々その噂で人から怪訝な顔をされたり、いじめに近い扱いを受けたりして来た。噂の源は女性なので、この話は女性に男性の私が行き過ぎた真似をしたとするもの。ここ数年、漠然とだが、この話が広がり、私はある意味ですっかりお尋ね者になってしまったようだ。留学へと向かう前、妻に「グローバル化の今、どうせ留学先でも、この噂の洗礼を受けるだろうね」と話していたが、案の定だった。

先週の後半、それまで親しげに接して来た金珉珠が何か遠ざけているように感じていた。その上で、金曜日の市内見学に珉珠と韓美延が現れなかった。見学会の終わりに「国際会議中心」で金晨星が電話で話していたのは珉珠とだった。それにしても、韓国人の珉珠は誰から噂を聞いたのか？数年前、私は都心北側の高校で地理などを教えていた。そこで教えた李という女生徒が、韓国人牧師の娘だと聞いていた。珉珠は韓国では珍しくないプロテスタント教会の熱心な信者だった。ここ大連でも、日曜には韓国人の教会に通っていると話していた。私についての噂は、勤めていたその学校でも広がったことがある。なるほど、と思った次第である。 **春を迎えるキャンパス。中央が教学楼。その奥に宿舎。**



それでは、珉珠が日曜に教会に出かけた翌日、私への態度を改めたのは、どうしてなのか？ それは、改めて教会で李と話し、李がこの機に日本の知り合いと確認した内容から、噂は偽りであると伝わったから。その噂をさすがに不自然と思う人がいるらしく、これまでも私に伝わって間もなくこちらが弁明するまでもなく、「実は・・・」と否定されることがしばしばあった。今回も、そういう形で急展開したのだ。

下手をすると「私」と言う人格が否定され、同学の仲間との人間関係が壊れるかもしれない危機は一応去った。この経緯を裏付けるように、翌週の月曜日、劉先生が授業の中で「休日はどこに？」という問いを發したところ、晨星と韓美延が珉珠と教会に行ったと答えていた。そんな所に晨星が行くことはこの時だけだったのではと思う。教会で李から、私がどうしてこんな噂の渦中に置かれているのか、詳しく聞いたのだろう。

学期も後半に入ってから、この広くはびこる噂は日本人留学生の一人から、再び広がったことがある。しかし、私はそれに気づいても、余計な心配をしなくて済んだ。学期開始早々、この一件があったからだ。

こんなことがあったので、ソウルから来たこの韓国三人娘とは、何かと縁のある留学生活を送ることになった。